

令和元年度 事業報告

人口減少、超高齢社会にあつて、今後、ますます現役世代の減少が見込まれ、地域の活力を維持していくためには、働く意欲のある高齢者のみなさんが、年齢にかかわらず能力や経験を生かした生涯現役で活躍し続ける環境づくりが重要となっています。

このような状況の下、茅野広域シルバー人材センターでは、会員に働く機会を確保・提供し、生きがいの充実、健康の維持・増進を図るほか、会員が就業等を通じて、地域の担い手や現役世代の支え手としても活躍しており、センターに向けられる期待は一層大きなものとなっています。

令和元年度は、会員が経験や技能を生かし、地域社会で活躍する場としての魅力あるセンターの実現を目指し、「事故ゼロを目指した安全・適正就業」、「会員拡大と資質向上」など9つの重点目標を掲げ、会員一体となって事業の推進に努めてまいりました。

令和元年度の業務実績を見ると、請負の契約金額は、約3億3千9百万円で前年度より約2千万円の減となりました。また、派遣の契約金額では、約4千百万円で前年度より約1千4百万円の増となり、請負と派遣の合計金額では、約3億8千万円となりました。

安全就業につきましては、「事故ゼロ」を重点目標の第一に掲げて取り組んでまいりました。今年度は7件の事故が発生しましたが、前年度と同数の結果となりました。これも機会あるごとに会員の皆様方に危険ゼロの取り組みの周知を図り、安全意識の高揚に努め、事故ゼロを目指してきた結果で、今後も会員一人ひとりがもう一度安全に対する心構えをしっかりと持ち、意識して就業していただくことが必要です。

また、会員拡大につきましては、全シ協が策定した「第2次会員100万人達成計画」と当センターの中期計画に掲げる目標会員数に向けて、「一人一会員入会活動（ともだち作戦）」の取り組みを進めてまいりました。全国的に会員が減少している中で、今年度末の会員数は649人となり、前年度末の会員から7人増加することができました。

以下、令和元年度の主な事業を報告いたします。

主な業務実績

* 事業受注件数	請負	3, 224件	前年比 ▲	384件
	派遣	21件	前年比 +	11件
* 契約金額	請負	339, 259千円	前年比 ▲	6.0%
	派遣	40, 862千円	前年比 +	54.0%
* 会員数（3月31日現在）		649人	前年比 +	7人

主な事業報告

○総会

令和元年度定時総会を5月31日（金）茅野市民館コンサートホールで開催しました。
出席者235名、委任状262名、合計497名

- 1) 平成30年度事業報告の承認について
- 2) 平成30年度決算の承認について
監査報告
以上が提案され、全て原案どおり承認されました。
報告事項、決議事項は次のとおりです。
- 3) 補正予算の報告について
- 4) 令和元年度事業計画の報告について
- 5) 令和元年度収支予算の報告について

○理事会

令和元年度（平成31年度）は9回の理事会を開催しました。事業等の実施状況報告、正会員の入会承認、適正就業と会員確保、シルバー派遣事業への対応等、センターの運営全般の基本的事項に関することなどを審議、協議いたしました。

○監査会

令和元年10月に4月から9月までの上半期の監査をして頂きました。また、令和2年4月には定時総会に提案する令和元年度事業報告、決算について監査して頂き、適正な執行であると認められました。また、理事会に出席し、事業執行について意見を述べていただきました。

○専門委員会事業報告

1. 総務委員会

- (1) 組織市町村首長との懇談会を実施しました。

助成金の継続と各種事業や要望にご配慮をいただき、シルバー人材センターの会員100万人達成計画に向けての広報活動にもご支援をいただくことができました。

- (2) センター活動の更なる活性化に向け、班長を中心に地域での奉仕活動、会員同士の交流会等に地域班活動助成を行いました。残念ながら未実施班もありましたので、次年度では、多くの地域班で実施いただけるようお願いいたします。

合同地域班会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、茅野・米沢会場を除き、6会場での開催を中止いたしました。

(3) 『第6回シルバーフェア』

楽しく学んで健康づくりに取り組む機会として、『生活・安全講話』を兼ねて開催しました。

- ◆日 時：令和2年2月21日（金） （参加会員150名）
- ◆会 場：茅野市民会館 コンサートホール
- ◆講 師：日向亭 葵 氏（お笑い理学療法士）
- ◆内 容：エアリハで姿勢を整え介護予防！
～転倒しない習慣作り～
- ◆作品展：同好会等の会員作品を展示

(4) 女性会員増を目指した活動をシルバーショップつどいと連携し行いました。

- ・プチショップの出店（くらの市、茅野どんぱん、新そばまつり・軽トラ市等）
- ・日常生活支援事業研修会、手芸・料理勉強会、家族信託研修会 等
- ・令和元年度入会女性会員 24名

今後も各種の行事を開催しますので、多くの方の参加をお願いします。

2. 就業委員会

令和元年度の活動は、事業計画に基づき活動を実施してまいりました。

会員拡大については、雇用延長、就業先の減少、会員の高齢化等、様々な阻害要因がある中で友達作戦や4月～7月に会員・就業先紹介キャンペーンを実施し、660人への会員拡大に取り組んでまいりましたが、残念ながら649人で終了いたしました。

就業の公平化、適正化につきましては、プラスワン作戦を展開しご理解を頂き進めることが出来ました。入会説明会の資料見直し作成と面接会を継続し、就業率向上へ役立ててまいりました。

就業先の拡大は最重要課題であり、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業コーディネータを置き、業務の開拓・就業先確保を実施しました。

お客様アンケートを継続し、いただきました多くの貴重なご意見を生かして更にシルバー人材センター発展のため役立ててまいります。

(1) 入会説明会、審査会及び委員会（毎月）

説明会	第2水曜日	審査会	第3金曜日		
申 込	151名	参加者	128名	審査	90名

(2) 研修会・行事等の実績

10月18日	大型店街頭啓発(大雨により中止)、但し富士見は生活展にて実施
12月10、12日	注連縄講習会 茅野(17人)／富士見(4人)／原(2人)

(3) お客様アンケート結果

4月～11月の得意先100件に対しアンケート調査を実施しました。

回答率 74%

【評価結果】

茅野91点 富士見92点 原87点

3. 安全委員会

会員の安全・安心な就業に向けて、安全に対する会員相互の意識向上を図ることを目指して活動してまいりました。

各種の機会を利用し繰り返し会員に注意を促すこと。就業現場をパトロールして安全指導を実施、事故が発生した場合は速やかに対処し検討を行いました。

委員会は安全・適正就業推進の年間目標『危険ゼロ』に向け取り組んでまいりました。

(1) 危険ゼロの取組み

安全パトロールで現場作業者に聞き取りを確認しました。

主な内容 ①作業前に現場の確認をしている。2ヶ所の現場で蜂の巣除去実施。

②くぼみの確認。

③道路沿いの現場はカラーコーンを設置している。

④別荘地では、建物周辺の小石の状況確認と注意をして作業している。

これらの返答がありました。

皆さんの安全意識の向上が感じられ危険ゼロ意識が理解されてきている。

作業者の事故意識の向上が事故の減少傾向に繋がっていると評価します。

(2) 就業現場のパトロールについて

7月～10月を「安全就業強化月間」と定め安全パトロールを実施しました。

・茅野地区 剪定2現場 ・富士見地区 剪定2現場 原地区 草刈り2現場

合計6現場の安全パトロールを実施、各現場とも指摘事項は無く(良)と判断しました。

(3) 長野県シルバー連合会の指導パトロールについて

8月6日 安全・適正就業推進パトロールを実施

県シ連から青木様、竹内様の2名が来場、茅野地区玉川山田の民家の剪定現場を巡視、反省会では、指摘事項もなく(良)の評価をいただきました。

(4) 安全標語について

本年度は19点の標語が応募され、1月29日理事会で厳正に審査して優秀作品1点佳作2点が決まりました。

(5) 事故の発生状況

賠償事故4件、傷害事故3件、計7件発生しました。

・草刈飛び石2件・熱中症1件・剪定1件・車事故2件・遊具にあたる1件

(6) 刈刃と防護ネットについて

刈 刃 フジ鋼業メーカーの刈刃を草刈り関係者に試し刈り試験をしていただき、20名から切れ味等の感想データーを提出してもらい、データー集計整理を行った。

防護ネット 5月頃に購入し安全委員会で確認しました。(6月11日)

茅野広域シルバーの3事務所にて配備されています。現在使用頻度は少ない。

今後、危険と判断したら防護ネットの使用をお勧めします。

(7) 県シ連開催の研修会(6月・11月)や安全・適性就業推進大会(10月)について

安全委員会は、県シ連の指定人数に対応して参加しました。

危険・予知・トレーニングKYT手法の学習、県シ連の活動内容、事故状況、安全標語表彰、講演「請負就業と派遣事業の取組みについて」がありました。

(8)安全就業ニュースについて(全シ協発行資料)

事故状況、特に死亡事故、重篤事故の記載内容を理解して原因は何か委員会で意見交換して原因を確認してきました。パトロールの際に活用しました。

4. 広報委員会

(1) 会報「シルバー茅野広域」、第67号・68号を発行しました。

『会員全体での厳しい現状の共有と、一人ひとりの意識改革で、新規事業開拓と日常生活支援事業への取組に向け、その担い手となる女性会員の拡大と会員100万人計画を達成したい』、との小林理事長の熱いメッセージと共に、総務・就業・安全の各委員会の活動状況を掲載しました。

(2) 「八ヶ岳山麓だより」にシルバーフェア開催、組織市町村首長との懇談会・各地区奉仕活動・注連縄づくり講習会、ワークプラザ(つどい)の行事等を中心に会員への情報発信に努めました。また、4月にグランドオープンした『シルバーショップつどい』の活動の詳細を掲載することができました。

(3) 地域公共施設への会報「シルバー茅野広域」の配置等を通じ、茅野広域シルバー人材センターのPR活動に努めました。

◎令和2年度 「安全・適正就業対策推進の重点目標」

目標 “危険ゼロ”

◎安全標語

全シ協 安全就業統一スローガン

『事故防止、急ぐな、焦るな、気を抜くな』

◎令和元年度茅野広域シルバー人材センター標語審査

優 秀 賞 『事故を呼ぶ 慣れと過信のマンネリ化』 ……五味 和広

佳 作 『もう一度 これで良いかと念を入れ』 ……雨宮 泉

佳 作 『甘く見た、簡単作業は、要注意』 ……小林 朝治